

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	聴覚検査		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期	教室名	402他
担 当 教 員	辻 一功	実務経験と その関連資格	言語聴覚士、認定補聴器技能者として補聴器外来や聴覚リハビリテーションに携わっている。			
《授業科目における学習内容》						
言語聴覚士が行う診療補助業務として定められている聴覚検査について、演習を踏まえながら検査方法・目的・種類等を修得する。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト・中間試験、学期末試験 学期末試験で100%評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
聴覚検査の実際 改訂4版(南山堂)						
《授業外における学習方法》						
予習及び復習を行うことが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
聴覚検査は臨床業務に必須といえる知識・技能であるが、解剖生理、病理の基礎知識に加え、音響学や検査機器の知識も熟知する必要がある。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚検査の概論について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	聴覚検査の概要、音響学の基礎などについて学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	内耳・後迷路の解剖・生理について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	内耳・後迷路の解剖・生理などについて学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	聞こえの病態について理解、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	外耳・中耳・内耳・後迷路の病態などについて学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	純音聴力検査について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	気導聴力検査、骨導聴力検査などについて学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	マスキング、自記オージオメトリーについて理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	マスキング、自記オージオメトリーについて学ぶ			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	気導聴力検査について説明し、実施できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	気導聴力検査、骨導聴力検査の実習		
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	マスキング、自記オージオメトリーについて説明し、実施できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	マスキング、自記オージオメトリーの実習		
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	語音聴力検査、内耳機能検査について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	語音弁別検査、語音了解閾値、内耳機能検査などについて学ぶ		
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	語音聴力検査、内耳機能検査について説明し、実施できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	語音弁別検査、語音了解閾値検査、内耳機能検査の実習		
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	インピーダンスオージオメトリーについて理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	ティンパノメトリー、アブミ骨筋反射などについて学ぶ		
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	インピーダンスオージオメトリーについて理解し、実施できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	ティンパノメトリー、アブミ骨筋反射などの実習		
第12回	講義形式 授業を通じての到達目標	聴力検査について説明し、実施できる、中間試験	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	聴力検査の実習、中間試験		
第13回	講義形式 授業を通じての到達目標	他覚的聴力検査について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	ABR、ASSRなどについて学ぶ		
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	耳音響放射、乳幼児スクリーニングについて理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	耳音響放射、AABRなどについて学ぶ		
第15回	講義形式 授業を通じての到達目標	聴覚の発達、小児聴覚障害について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	聴覚発達質問紙などについて学ぶ		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児聴力検査について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	BOA、COR、VRA、ピープショウテスト、遊戯聴力検査などについて学ぶ		
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	乳幼児聴力検査について説明し実施できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	BOA、CORの実習		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	選別聴力検査、耳管機能検査について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	健康診断の法律、選別聴力検査、耳管機能検査について学ぶ		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	詐聴、機能性難聴の検査について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	詐聴、機能性難聴の検査について学ぶ		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	平衡機能の検査と評価について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	ESG、ビデオ眼振検査、重心動揺検査、VEMPなどについて学ぶ		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	耳鳴検査について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	耳鳴検査について学ぶ		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	症例に応じて適切な聴覚検査を理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	症例検討		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚検査について整理し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	聴覚検査のまとめ		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 26 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 27 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 28 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 29 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 30 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 31 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 32 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 33 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 34 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 35 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			